



地域包括支援センターだより



登米市津山・豊里地域包括支援センター

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

皆さんは「認知症」という言葉を聞いたことがありますか？
 高齢化社会が進む日本では、これからますます「認知症」の人数が増えると言われています。「認知症」について知ることは、これからの社会を生きていく私達にとって大切なことです。
 人間は年をとると体の働きが衰えていきます。体力は低下し、物忘れが増えたりします。でも、「認知症」と年相応の物忘れは別のものであるのです。
 初期の「認知症」について関心を持ってもらい早期発見することで「認知症」の人を支えることに少しでもつながればと思っています。

家族がつくった「認知症」早期発見のめやす

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

心配だから、包括支援センターに聞いてみようかな

不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える



意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

※医学的な診断基準ではありませんが暮らしの中での目安として参考にしてください。

● ● ● ● ● 地域包括支援センター相談窓口 ● ● ● ● ●

津山本所（老人福祉センター内） 0225-68-3780

豊里分室（豊里総合支所内） 0225-76-4811



地域包括支援センターは、介護・福祉・保健・医療の総合相談窓口です。
高齢者の方が抱える生活全般の悩み・相談に対して専門職が解決のための支援をします。